## 令和6年第4回定例会•一般質問

- ○日 時 令和6年12月6日(金)午前9時~
- ○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	安道 泰治	1. 農業振興について(山村再生課・企画課) (1)今年は令和の米騒動といわれるほど米不足であった。 これをチャンスと捉えて、耕作放棄地の対策に、よりいっ そう取り組むべきと考えるが、町長の所見を問う。 (2) 摂津市の農業祭への出店で、農産物の販売と交流事業が行われている。観光面も含めて、実務者協議が必要と考えるが町長の所見を問う。  2. 観光事業について(企画課・教育課) (1) 来年の4月には始まる予定の大阪万博での本町への観光誘客対策を問う。 (2) 石谷家住宅の来館者も下降気味である。	9:00
		色々なイベントも組んでいるが、万博を機に、インバウンドの集客も含め、新たな誘客も考えるべきだと思うが、所見を問う。	
2	大河原 昭洋	1. 地方創生 2.0 について(企画課) 地元選出の石破総理が誕生し「地方こそ成長の主役」と述べ、その最重要政策として「地方創生 2.0」を再起動させると宣言した。これを実現する方策として、地方創生の自治体向け交付金を令和7年度当初予算ベースで倍増を掲げている。 (1) 智頭町総合戦略は平成27年に1期目が策定され現在2期目となっている。令和6年9月には改訂版も示されているが、これからの本町の地方創生に向けて、どのようなことに重点を置き取り組もうと考えているのか。 (2) 人口減少対策の大きな柱として合計特殊出生率の向上が挙げられる。若者の結婚願望を実現させる具体的施策の充実も必要と思うが、どのように考えているのか。  2. 今後の財政運営について(総務課)人口減少と少子高齢化が、より一層進行していることから今後も歳入の減少が懸念される。現在の行政サービスを、これからも維持し継続するためには計画的財政運営が必要と考える。 (1) 指標となる第5次行財政改革プランの策定時期をいつ頃と考えているのか。 (2) 次期行財政改革プランの中に盛り込む内容と、今後の財政見通しをどのように考えているのか。	9:45

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	北川 貴将	1. 将来の財源の確保について(総務課・企画課) (1) 財源確保が本町において急務と感じるが、何か策はあるのか。 (2) 観光協会との連携により、稼ぐまちとして本町はもっと積極的に行動すべきではないか。  2. 移住・定住施策について(企画課・税務住民課) (1) 様々な、移住・定住支援がある中で、今後、制限の緩和・金額の見直しが必要性を感じるが、町長の所見を伺う。(2) 今後、空き家の対策は必要不可欠であるが、解体時の補助金を拡充する考えはないか。 (3)移住支援において、給付金や補助金だけではなく、伴走型の支援を検討してはどうか。	10:35
4	岡田 光弘	1. 新たな地方創生について(企画課) 地方創生が叫ばれてから10年が経過して、現在また新たな地方創生がスタートしようとしている。この時期に智頭町としてどのような取り組みを展開していくのか。 (1)現在まで智頭町における地方創生の取り組みについてどのようにとらえるのか。 (2)本町として「地方創生のゴール」をどのようにとらえるのか。 (3)地方創生2.0と言える現在の状況をどのように活かしていくのか。 (4)今後のまちづくりを考えるうえで、若年層や女性の意見を取り入れ、政策に反映していく仕組みが必要と考えるがいかがか。  2. 智頭らしい高齢者サポートの推進について(福祉課) 少子高齢化が激しく進んでいる状況のなかにあって社会のいろいろな仕組みや、DXの推進などデジタル化による社会環境も大きく転換しようとしています。特に高齢者のなかには、より丁寧な説明や、サポートを必要とする方も多いのではないかと考えます。 (1)今後高齢者のサポートの中でどのような点を重視して取り組んでいくのか。 (2)総合窓口「ふくりん」などの機能強化の取り組みをどのように図っていくのか。	11:20

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。